



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月13日

上場会社名 株式会社ストライダーズ  
コード番号 9816  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 財務・経理本部長  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
URL <https://www.striders.co.jp/>  
(氏名) 早川 良太郎  
(氏名) 大黒 基司 TEL 03 (5777) 1891  
配当支払開始予定日 -

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,751	4.5	△24	-	15	△84.2	△1	-
2023年3月期第2四半期	3,587	△3.9	26	-	95	88.2	41	△9.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 12百万円(△70.2%) 2023年3月期第2四半期 41百万円(101.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△0.14	-
2023年3月期第2四半期	4.96	-

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	4,437	2,475	55.2	293.41
2023年3月期	4,651	2,517	53.5	296.42

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,447百万円 2023年3月期 2,489百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,526	2.1	56	△60.4	107	△53.7	55	△52.9	6.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名） 、 除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	8,912,089株	2023年3月期	8,912,089株
2024年3月期2Q	568,759株	2023年3月期	514,109株
2024年3月期2Q	8,373,248株	2023年3月期2Q	8,453,688株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は緩やかに持ち直しつつある一方で、世界規模での供給面での制約が顕在化し、欧米を中心とした物価上昇と金融引締めが続くなか、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクや、為替相場をはじめとした金融資本市場の変動等による影響に十分注意していく必要があります。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）では、こうした足元のマクロ経済環境に注視しつつ、引き続き、国内外における新規投資機会の獲得活動を継続する一方、新規事業戦略の検討や既存事業における経営の効率化等に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間は売上高3,751百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業損失24百万円（前年同四半期は営業利益26百万円）、経常利益15百万円（前年同四半期比84.2%減）、税金等調整前四半期純利益15百万円（前年同四半期比84.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失1百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益41百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「海外事業」より「投資事業」に変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### ① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいてマンションオーナー向けのリーシング及び賃貸管理とマンション建物の受託管理を行うレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を営んでおります。

レジデンス事業は、前年同期比で管理戸数やサブリース賃貸借契約の賃料水準に大きな変化はありませんでしたが、空室率が低下したことで稼働戸数に比例して家賃収入が増加し、売上高、売上総利益ともに増収増益となりました。

また、不動産売買事業は、売上高がほぼ前年同期並みに推移するとともに、粗利率が改善しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は、レジデンス事業の空室率の低下を主要因として、3,073百万円（前年同四半期比6.0%増）となり、営業利益はこれらに加え、販管費の抑制も貢献し、98百万円（前年同四半期比84.9%増）となりました。

#### ② ホテル事業

ホテル事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。

成田ゲートウェイホテルは、千葉県からの要請に基づき、2020年4月から新型コロナウイルス感染症の無症状者・軽症者の一時的な療養者施設として、およそ3年間に渡り運営を続けてまいりましたが、国内における新規感染者数の大幅な減少と新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行を受けて、2023年5月末をもって施設提供を終了いたしました。ホテル営業を再開した2023年6月以降は、3年間に及ぶホテル営業の休業からの立ち上がり間もないこと、またインバウンド観光客等の仕込みを始めとした、段階的に稼働率を高めていく過程にあたることから、療養者施設として運営していた前年同期と比して売上高は落ち込み、当第2四半期連結累計期間においては前年同期比で減収減益となりました。

一方、倉敷ロイヤルアートホテルにおいては、先の新型コロナウイルス感染症の「5類」への移行、および欧米を中心としたインバウンド観光客の回帰を受けて、倉敷美観地区エリアに賑わいが戻りつつある中で、ホテル稼働率と客室単価が前年同期比で大きく改善し、増収増益となりました。

こうした両ホテルの業績を合算した結果、成田ゲートウェイホテルの営業再開以降の業績が大きく影響し、セグメント全体では減収減益となり、当第2四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は485百万円（前年同四半期比10.9%減）、営業損失は17百万円（前年同四半期は営業利益86百万円）となりました。

#### ③ 投資事業

当社グループの投資事業につきましては、M&Aグローバル・パートナーズ株式会社において国内投資事業を、STRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD.において海外投資事業を、それぞれ営んでおります。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各国経済において不透明な投資環境が継続する中、新規の投資に対して慎重な姿勢を取りつつも、日本国内の事業承継やインバウンド投資の案件発掘を進めてまいりました。また国内を始め、南・東南アジア、欧州といった地域のスタートアップ投資、とりわけアグリテック、インシュアテック、ヘルステックならびにグリーンテックといった領域に注目してまいりました。

こうした中、7月末にSTRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD.の投資先の一つである、スリランカおよびバングラデシュにおいてデジタル・メディアプラットフォームを運営するRoar Media社の株式の一部を売却し、これに伴うキャピタルゲインを得ています。

その結果、当第2四半期連結累計期間の投資事業の売上高は30百万円（前年同四半期は売上高0百万円）となり、営業利益は6百万円（前年同四半期は営業損失1百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 財政状態

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,990百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円減少しました。これは主にセグメント区分の変更に伴い、投資有価証券の一部を振り替えたことにより営業投資有価証券が143百万円増加した一方で、現金及び預金が84百万円、棚卸資産が67百万円、未収法人税等が54百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は1,446百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円減少しました。これは主に投資有価証券が145百万円減少した一方で、出資金が33百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ213百万円減少しました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,210百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円増加しました。これは主に1年内返済予定長期借入金が224百万円増加した一方で、未払法人税等が63百万円減少したこと等によるものであります。

固定負債は751百万円となり、前連結会計年度末に比べ338百万円減少しました。これは主に長期借入金が300百万円、社債が20百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は1,962百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少しました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少しました。主な要因は配当により41百万円を利益処分したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は、55.2%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は2,317百万円となり、前連結会計年度末に比べ84百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は140百万円（前年同期は69百万円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額85百万円、棚卸資産の減少額67百万円、法人税等の還付額56百万円、減価償却費48百万円、売上債権の減少額32百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は68百万円（前年同期は67百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出40百万円、匿名組合出資金の払込による支出28百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は163百万円（前年同期は148百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出76百万円、配当金の支払額41百万円、社債の償還による支出30百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月15日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,582,861	2,498,079
売掛金	204,802	172,709
有価証券	150	162
営業投資有価証券	—	143,509
棚卸資産	141,226	73,524
その他	141,250	110,750
貸倒引当金	△5,177	△7,888
流動資産合計	3,065,114	2,990,847
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	740,092	732,638
土地	338,351	338,351
その他（純額）	58,821	45,767
有形固定資産合計	1,137,265	1,116,757
無形固定資産		
のれん	91,374	87,313
その他	10,749	8,943
無形固定資産合計	102,124	96,257
投資その他の資産		
投資有価証券	155,265	10,000
関係会社株式	59,645	57,465
繰延税金資産	19,900	20,597
その他	112,334	145,859
貸倒引当金	△190	△190
投資その他の資産合計	346,954	233,730
固定資産合計	1,586,344	1,446,745
資産合計	4,651,458	4,437,593

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	90,992	109,473
短期借入金	10,000	10,000
1年内償還予定の社債	160,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	165,970	390,541
前受収益	169,232	156,994
未払費用	80,467	97,484
未払金	57,324	61,009
未払法人税等	85,415	21,865
賞与引当金	20,825	23,909
預り金	89,228	96,136
金利スワップ	3,868	2,329
その他	110,408	90,787
流動負債合計	1,043,732	1,210,532
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	735,125	434,533
退職給付に係る負債	11,340	11,629
長期預り敷金保証金	143,043	136,033
繰延税金負債	147,794	144,950
その他	12,898	4,639
固定負債合計	1,090,201	751,784
負債合計	2,133,934	1,962,317
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,585,938	1,585,938
資本剰余金	109,730	109,730
利益剰余金	955,765	912,595
自己株式	△164,095	△176,730
株主資本合計	2,487,339	2,431,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△8,233	370
繰延ヘッジ損益	△3,848	△2,323
為替換算調整勘定	14,034	18,404
その他の包括利益累計額合計	1,953	16,451
新株予約権	3,375	3,375
非支配株主持分	24,856	23,916
純資産合計	2,517,524	2,475,276
負債純資産合計	4,651,458	4,437,593

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	3,587,860	3,751,045
売上原価	2,708,655	2,875,465
売上総利益	879,205	875,580
販売費及び一般管理費	852,750	899,686
営業利益又は営業損失(△)	26,454	△24,106
営業外収益		
受取利息	82	242
受取配当金	537	1
受取手数料	20,829	21,352
為替差益	19,877	18,012
持分法による投資利益	2,497	4,082
助成金収入	24,957	3,574
その他	8,089	2,875
営業外収益合計	76,872	50,142
営業外費用		
支払利息	6,268	5,850
社債利息	946	704
貸倒引当金繰入額	—	3,125
有価証券評価損	198	—
その他	672	1,268
営業外費用合計	8,086	10,948
経常利益	95,240	15,087
特別利益		
固定資産売却益	2,505	212
特別利益合計	2,505	212
特別損失		
固定資産除却損	—	74
投資有価証券評価損	120	—
特別損失合計	120	74
税金等調整前四半期純利益	97,626	15,224
法人税、住民税及び事業税	62,791	20,901
法人税等調整額	△6,595	△3,554
法人税等合計	56,195	17,346
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,430	△2,121
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△499	△940
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	41,930	△1,180



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	41,430	△2,121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,923	8,116
繰延ヘッジ損益	2,271	1,524
為替換算調整勘定	5,819	4,370
持分法適用会社に対する持分相当額	—	486
その他の包括利益合計	167	14,498
四半期包括利益	41,598	12,376
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,097	13,317
非支配株主に係る四半期包括利益	△499	△940

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	97,626	15,224
減価償却費	48,240	48,599
のれん償却額	4,061	4,061
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	66	2,711
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△50	3,372
受取利息及び受取配当金	△620	△244
支払利息及び社債利息	7,215	6,554
為替差損益 (△は益)	△19,877	△18,012
持分法による投資損益 (△は益)	△2,497	△4,082
助成金収入	△24,957	△3,574
固定資産売却損益 (△は益)	△2,505	△212
固定資産除却損	—	74
投資有価証券評価損益 (△は益)	120	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,994	32,093
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	—	△138,752
投資有価証券から営業投資有価証券への振替額	—	158,123
棚卸資産の増減額 (△は増加)	3,762	67,701
仕入債務の増減額 (△は減少)	△38,467	18,480
預り金の増減額 (△は減少)	△3,033	6,899
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△9,989	△7,010
その他	△882	△27,007
小計	62,202	165,001
利息及び配当金の受取額	14,119	6,993
利息の支払額	△7,336	△6,445
法人税等の還付額	41,003	56,365
法人税等の支払額	△65,412	△85,338
助成金の受取額	24,957	3,574
営業活動によるキャッシュ・フロー	69,534	140,152
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,224	△40,417
有形固定資産の売却による収入	3,249	212
投資有価証券の取得による支出	△67,650	—
投資有価証券の売却による収入	750	—
無形固定資産の取得による支出	△2,086	—
匿名組合出資金の払込による支出	—	△28,527
その他	469	△183
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,493	△68,916

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△30,000	△30,000
長期借入金の返済による支出	△64,977	△76,021
自己株式の取得による支出	△9,091	△12,855
配当金の支払額	△41,763	△41,261
リース債務の返済による支出	△2,625	△3,075
財務活動によるキャッシュ・フロー	△148,456	△163,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	13,077	7,255
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△133,337	△84,721
現金及び現金同等物の期首残高	2,399,706	2,402,242
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,266,368	2,317,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

セグメント区分の変更により、投資有価証券のうち158,123千円を、営業投資有価証券へ振り替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	2,900,903	543,259	12	3,444,175	143,684	3,587,860	—	3,587,860
外部顧客への売上高	2,900,903	543,259	12	3,444,175	143,684	3,587,860	—	3,587,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,589	—	1,589	—	1,589	△1,589	—
計	2,900,903	544,849	12	3,445,765	143,684	3,589,449	△1,589	3,587,860
セグメント利益又は損失(△)	53,165	86,676	△1,890	137,952	2,442	140,394	△113,939	26,454

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△113,939千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	投資事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	3,056,397	484,629	30,285	3,571,312	179,732	3,751,045	—	3,751,045
外部顧客への売上高	3,056,397	484,629	30,285	3,571,312	179,732	3,751,045	—	3,751,045
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,370	1,085	—	18,455	—	18,455	△18,455	—
計	3,073,767	485,715	30,285	3,589,768	179,732	3,769,501	△18,455	3,751,045
セグメント利益又は損失(△)	98,294	△17,378	6,538	87,454	△2,357	85,096	△109,203	△24,106

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△109,203千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を「海外事業」から「投資事業」に変更するとともに、従来「その他」に含まれていた連結子会社のM&Aグローバル・パートナーズ株式会社を「投資事業」へ区分変更しております。

これらは、過年度において連結子会社のPT. Citra Surya Komunikasi株式の一部を譲渡したことにより、報告セグメントとしての「海外事業」の重要性が低下したことと、近年、国内外を問わず投資実績を積み上げた結果、当社グループにおける経営上の意思決定および業績の評価を行なう構成単位が「海外事業」から「投資事業」へと変化した実態を踏まえたことによる変更になります。なお、当社グループでは国内投資事業をM&Aグローバル・パートナーズ株式会社が、海外投資事業をSTRIDERS GLOBAL INVESTMENT PTE. LTD. が担うものと位置付けております。

前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。